

THE BEAUTY OF AINU DESIGN

アイヌ文様の美

線のいのち、息づくかたち

2006年 2007年
12月13日(水)～1月28日(日)

アイヌの人びとは、北海道を中心に、東北地方北部及びサハリン(樺太)南部、千島列島に居住してきた民族です。近隣地域と活発な交流を行いながら、口承文芸である「ユカラ」や宗教儀礼である「イオマンテ」(熊送り)をはじめとする、独特の文化を育んできました。なかでも、衣装をはじめとする工芸品にほどこされる文様は、きわだった特色を示しており、アイヌの人びとの造形文化を代表するものといえます。

本展は、アイヌの人びとの工芸品を造形的な視点からとらえ、北海道の美術史の中に位置づけようとするものです。20世紀までのアイヌの人びとの工芸品にほどこされた文様に焦点を当て、その造形美をごらんいただきます。

第一章「アイヌ文様—アイヌモシリに咲いた華」では、遺跡の発掘資料から明治初期まで、制作年代を推定できる資料を通して、ア

イヌ文様の歴史的流れをたどるとともに、アイヌ文様をはぐくんだ重要なバックグラウンドとして、周辺民族の文様をあわせてごらんいただきます。また、特徴的なアイヌ文様を、出品作の中からピックアップしてご紹介します。第二章から第四章においては、個々の文様から目を転じて、空間全体における文様構成に注目します。「くりかえす」、「からみあう」、「ひろがる」をキーワードに、アイヌ文様における文様構成の原理をさぐります。最終章「ひびきあう—はなやぐ北の春のように」では、異なる色彩や素材を出会わせることによって、文様構成の原理から大きな跳躍を見せ、祝祭的とも呼ぶべき造形が生み出されている作品を紹介します。

生命感あふれる一本一本の線、そしていくつものかたちが伸びやかに息づく文様空間、これらのうえにくりひろげられるアイヌ文様の美の世界を、この機会にぜひご覧下さい。

凡例

作品名称は、アイヌ語名称及び日本語名称を記したが、アイヌ語名称が不明なものについては、日本語名称のみとした。いずれも本展のために付したものであり、各所蔵館において登録・使用されているものではない(ただし美々8遺跡からの出土品については、所蔵先の日本語名称を用いた)。

アイヌ語名称は(財)アイヌ民族博物館が選定した。アイヌ語表記は「アコロ イタク アイヌ語テキスト1」(社団法人北海道ウタリ協会 1994)を参照した。なお、資料によっては名称の地域差が大きく、同形の資料を異なった名称で呼ぶことがある。このため、使用地・収集地などのデータが不明な資料に関しては、考えうる名称を併記する方法をとった。なお、煩雑を避けるため、すべての名称を網羅しているわけではないことをお断りする。

このリストの番号は図録番号並びにキャプション番号と一致している。図録に掲載されていても当館で展示されない作品はここにあげていないため、通し番号とはなっており、欠落している番号がある。

出品作品リスト

第I章 アイヌ文様—アイヌモシリに咲いた華

歴史のなかのアイヌ文様

- 1
杓子柄
木(カエデ属)、彫刻による文様
1667～1739年
北海道立埋蔵文化財センター蔵
重要文化財
- 2
小刀柄
木(イチイ)、彫刻による文様
擦文文化期～1667年
北海道立埋蔵文化財センター蔵
重要文化財
- 3
山刀柄部
木(カエデ属)、彫刻による文様
15世紀半ば～1667年
北海道立埋蔵文化財センター蔵
重要文化財
- 4
ヘベレイ heperay
儀式用矢
木、彫刻による文様
北海道大学植物園・博物館蔵

- 5
花矢
木(アジサイ属)、彫刻による文様
1667～1739年
北海道立埋蔵文化財センター蔵
重要文化財
- 6
花矢
木(アジサイ属)、彫刻による文様
1667～1739年
北海道立埋蔵文化財センター蔵
重要文化財
- 9
木幣状製品
木(ヤナギ属)、彫刻による文様
1667～1739年
北海道立埋蔵文化財センター蔵
重要文化財
- 10
まじない用刀
木(トネリコ属)、彫刻による文様
1667～1739年
北海道立埋蔵文化財センター蔵
重要文化財
- 11
矢筒翼
木(モクレン属)、彫刻による文様
1667～1739年

- 北海道立埋蔵文化財センター蔵
重要文化財
- 12
捧酒箸
木(スギ)、彫刻による文様
15世紀半ば～1739年
北海道立埋蔵文化財センター蔵
重要文化財
- 13
アイヌ文様彫刻(透彫)
木(カエデ属)、彫刻による文様
擦文文化期～1667年
北海道立埋蔵文化財センター蔵
重要文化財
- 14
早權(複製)
木(サクラ属)、彫刻による文様
1667～1739年
北海道立埋蔵文化財センター蔵
重要文化財
- 15
車權受台部
木(ハンノキ属)、彫刻による文様
1667～1739年
北海道立埋蔵文化財センター蔵
重要文化財

- 16
車權受台部
木(サクラ属)、彫刻による文様
1667～1739年
北海道立埋蔵文化財センター蔵
重要文化財
- 24
村上島之允(泰樟丸)
間宮林蔵・村上貞助増補
蝦夷嶋図説
全八帖のうち一、三、四、六
紙本彩色・折帖
1823(文政6)年
函館市中央図書館蔵
函館市指定文化財
- 28
宮原柳僊模写
平澤屏山 蝦夷風俗十二月月屏風
紙本彩色・屏風(六曲一双)
1876(明治9)年以前
北海道開拓記念館蔵
- 29
宮原柳僊模写
平澤屏山 アイヌ風俗十二月月屏風
一月から六月
紙本淡彩・屏風(六曲一隻)
市立函館博物館蔵
函館市指定文化財

平澤屏山
アイヌ風俗十二ヶ月屏風
七月から十二月
紙本淡彩・屏風(六曲一隻)
市立函館博物館蔵
函館市指定文化財

30
谷元旦
蝦夷紀行
紙本淡彩・冊子
財団法人アイヌ民族博物館蔵

31
谷文晁
蝦夷山水器物巻
五巻のうち 器物巻
紙本彩色・卷子
1800(寛政12)年頃
北海道立近代美術館蔵

32
テトラペ tetarape
カーアハルシ kaaahrus
草皮衣
置布と刺繍による文様
松浦武四郎が収集
松浦武四郎記念館蔵

34
テトラペ tetarape
カーアハルシ kaaahrus
草皮衣
置布と刺繍による文様
松浦武四郎が収集
松浦武四郎記念館蔵

35
タンパコオッ tanpakooop
オトコホベ otokohpe
煙草入れ
木、彫刻による文様
松浦武四郎が収集
松浦武四郎記念館蔵

36
マキリ makiri
小刀
木、彫刻による文様
松浦武四郎が収集
松浦武四郎記念館蔵

37
木製小箱
木、彫刻による文様
松浦武四郎が収集
松浦武四郎記念館蔵

38
イタ ita
ニマ nima
盆
木、彫刻による文様
松浦武四郎が収集
松浦武四郎記念館蔵

39
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニッ ikunit
捧酒匁
木、彫刻による文様
1840(天保11)年以前
明治年間に鳥取県内にて石尾源太郎が
収集
北海道開拓記念館蔵

40
タンパコオッ tanpakooop
オトコホベ otokohpe
煙草入れ
木、彫刻による文様
菅茶山が収集
広島県立歴史博物館蔵

41
印籠
木、彫刻による文様
菅茶山が収集
広島県立歴史博物館蔵

42
マキリ makiri
小刀
木、彫刻による文様
菅茶山が収集
広島県立歴史博物館蔵

43
筆軸
木、彫刻による文様
菅茶山が収集
広島県立歴史博物館蔵

44
筆軸
木、彫刻による文様
菅茶山が収集
広島県立歴史博物館蔵

45
筆軸
木、彫刻による文様
菅茶山が収集
広島県立歴史博物館蔵

46
コンチ konci
頭巾
刺繍による文様
1875(明治8)年7月博覧会事務局引継ぎ
東京国立博物館蔵

47
ホシ hos
脚絆
置布と刺繍による文様
1875(明治8)年7月博覧会事務局引継ぎ
東京国立博物館蔵

49
アットゥシ attus
樹皮衣
置布と刺繍による文様
1875(明治8)年7月博覧会事務局引継ぎ
東京国立博物館蔵

東北アジアのなかのアイヌ文様

50
オロチョンの皮かばん
皮、アプリケによる文様
1944(昭和19)年に大興安嶺にて河野廣
道が収集
旭川市博物館蔵

51
ウイлтаの白樺樹皮容器
木綿、樹皮切抜きによる文様
河野廣道が樺太にて収集
旭川市博物館蔵

52
スポッ supop
宝物箱
木、彫刻による文様、彩色
千島アイヌが使用
1886(明治19)年5月に色丹島にて浅羽
清が収集
旭川市博物館蔵

53
ウイлтаの敷皮
トナカイのなめし皮、刺繍による文様
樺太のオタスにて河野廣道が収集
旭川市博物館蔵

54
ニヅフの靴
獣皮、布、刺繍による文様
樺太で収集
国立民族学博物館蔵

55
ニヅフの敷皮
トナカイのなめし皮、刺繍による文様
1944(昭和19)年樺太のオタスにて河野
廣道が収集
旭川市博物館蔵

56
オホコ ohko
獣皮衣
アプリケによる文様
樺太にて河野常吉が収集
旭川市博物館蔵

57
敷物
樹皮布、置布と刺繍による文様
樺太アイヌがウイлтаと合作か
東京国立博物館蔵

58
ウイлтаの敷布
ビロード、刺繍による文様
1927(昭和2)年に徳川頼貞が寄贈
東京国立博物館蔵

59
ウイлтаの敷物
麻地、置布と刺繍による文様
東京国立博物館蔵

60
サンタチミア santacimip
マンチウコソント manciwkosonto
山丹服
市立函館博物館蔵

61
チンパオリ cinpaori
陣羽織
松前の松本家に伝来
東京国立博物館蔵

62
コソント kosonte
コソント kosonto
小袖
青森県上磯地方にて収集
稽古館旧蔵
青森市教育委員会蔵

63
シントコ sintoko
行器
漆器
財団法人アイヌ民族博物館蔵

64
シントコ sintoko
シントク sintoku
行器
漆器
北海道開拓記念館蔵

典型的な文様

65
マンタリ mantari
マエタリ maetari
前掛け
布、刺繍による文様
青森県立郷土館蔵

66
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニッ ikunit
捧酒匁
木、彫刻による文様

北海道大学植物園・博物館蔵

67
シカリンパハ sikarinpah
丸椀
木、彫刻による文様
樺太アイヌが使用
河野廣道が収集
旭川市博物館蔵

69
ホシ hos
脚絆
樹皮布、木綿布、刺繍による文様
1913(大正2)年『明治記念殖産博覧
会』(大阪天王寺公園)で展示
1919(大正8)年開館の北海道物産陳列
場附属拓殖館(後に北海道拓殖館)旧蔵
北海道開拓記念館蔵

70
アットゥシ attus
アハルシ ahrus
樹皮衣
置布と刺繍による文様
稽古館旧蔵
青森市教育委員会蔵

71
チカッカッペ cikarkarpe
チニンニヌッ cininninup
木綿衣
置布と刺繍による文様
1873(明治6)年に北海道積丹にて収集
1875(明治8)年に博覧会事務局より引
継ぎ
東京国立博物館蔵

72
ニマ nima
木椀
木、彫刻による文様
北海道アイヌが使用
河野廣道が収集
旭川市博物館蔵

73
イタ ita
ニマ nima
盆
木、彫刻による文様
北海道アイヌが使用
河野廣道が収集
旭川市博物館蔵

75
エムサハ emusah
エムシアッ emusat
刀掛け帯
編みによる文様(帯部)
アプリケと刺繍による文様(房部)
兒玉作左衛門が収集
財団法人アイヌ民族博物館蔵

76
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニッ ikunit
捧酒匁
木、彫刻による文様
北海道大学植物園・博物館蔵

77
ホシ hos
脚絆
布、刺繍による文様
田中忠三郎が収集
財団法人アイヌ民族博物館蔵

78
シカリニーソシ sikarinisosh
木皿
木、彫刻による文様
樺太アイヌが使用
旧山内コレクション
1965(昭和40)年に兒玉作左衛門が収集

| | | | |
|--|--|--|--|
| 財団法人アイヌ民族博物館蔵 | 刀掛け帯 編みによる文様(帯部) アブリケと刺繍による文様(房部) 児玉作左衛門が収集 財団法人アイヌ民族博物館蔵 | 場附属拓殖館(後の北海道拓殖館)旧蔵 北海道開拓記念館蔵 | 116 イクバスイ ikupasuy 捧酒匁 木(ヤチダモ)、彫刻による文様、漆塗り 釧路にて河野廣道が収集 旭川市博物館蔵 |
| 79 カスフ kasup カスフ kasuh 杓子 木、彫刻による文様 松浦武四郎が収集 松浦武四郎記念館蔵 | 91 ホシ hos 脚絆 アブリケと刺繍による文様 静岡市立芹沢銈介美術館蔵 | 105 クッカラペラ kutkarpera 帯織り用匁 木、彫刻による文様、彩色 1919(大正8)年開館の北海道物産陳列 場附属拓殖館(後の北海道拓殖館)旧蔵 北海道開拓記念館蔵 | 117 イクバスイ ikupasuy イクニシ ikunis イクニツ ikunit 捧酒匁 木、彫刻による文様 河野廣道が収集 旭川市博物館蔵 |
| 80 イクバスイ ikupasuy イクニシ ikunis イクニツ ikunit 捧酒匁 木、彫刻による文様 児玉作左衛門が収集 市立函館博物館蔵 | 92 ルウンベ ruunpe 木綿衣 置布と刺繍による文様 天理大学附属天理参考館蔵 | 106 イカユフ ikayuh イカヨフ ikayop 儀式用矢筒 木、彫刻による文様、鉛板の象嵌、漆塗り 北海道開拓記念館蔵 | 118 イクバスイ ikupasuy 捧酒匁 木、彫刻による文様 白老にて河野廣道が収集 旭川市博物館蔵 |
| 81 アットウシ attus アハルシ ahrus 樹皮衣 置布と刺繍による文様 北海道大学植物園・博物館蔵 | 93 クッカラウオサ kutkarwosa 帯織り具 木、彫刻による文様 1919(大正8)年開館の北海道物産陳列 場附属拓殖館(後の北海道拓殖館)旧蔵 北海道開拓記念館蔵 | 107 イクバスイ ikupasuy イクニシ ikunis イクニツ ikunit 捧酒匁 木、彫刻による文様、真鍮飾り板、漆塗り 天理大学附属天理参考館蔵 | 119 イクバスイ ikupasuy イクニシ ikunis イクニツ ikunit 捧酒匁 木(サクラまたはカバカ)、彫刻による 文様 旭川市博物館蔵 |
| 83 サバウンペ sapaunpe 幣冠 樹皮製の縄、木(ミズキ)の彫刻片、編 みによる文様 北海道虻田にて河野常吉が収集 旭川市博物館蔵 | 94 イタ ita ニマ nima 盆 木、彫刻による文様 児玉作左衛門が収集 市立函館博物館蔵 | 108 イクバスイ ikupasuy 捧酒匁 木、彫刻による文様 静内にて河野廣道が収集 旭川市博物館蔵 | 120 イクバスイ ikupasuy イクニシ ikunis イクニツ ikunit 捧酒匁 木、彫刻による文様 児玉作左衛門が収集 財団法人アイヌ民族博物館蔵 |
| 84 クツ kut 帯 布、獣皮、刺繍による文様 千島アイヌが使用 1899(明治32)年に色丹島にて鳥居龍蔵 が収集 国立民族学博物館蔵 | 95 イクバスイ ikupasuy 捧酒匁 木(カバ)、彫刻による文様 1970(昭和45)年に旭川・近文在住の尾 澤カンシャトクから収集 旭川市博物館蔵 | 109 イクバスイ ikupasuy 捧酒匁 木、彫刻による文様(熊) 浜益にて河野廣道が収集 旭川市博物館蔵 | 121 イクバスイ ikupasuy 捧酒匁 木、彫刻による文様 児玉作左衛門がナミワッカ(現・新冠 町)にて収集 財団法人アイヌ民族博物館蔵 |
| 85 シトペラ sitopera 団子用匁 木、彫刻による文様 財団法人日本民藝館蔵 | 96、97、98、99 刀飾り 骨または角、彫刻による文様 旭川市博物館蔵 | 110 イクバスイ ikupasuy 捧酒匁 木(クルミ)、彫刻による文様、彩色 日高地方にて河野廣道が収集 旭川市博物館蔵 | 122 イクバスイ ikupasuy イクニシ ikunis イクニツ ikunit 捧酒匁 木、彫刻による文様 児玉作左衛門が若林から収集 財団法人アイヌ民族博物館蔵 |
| 86 イクバスイ ikupasuy イクニシ ikunis イクニツ ikunit 捧酒匁 木、彫刻による文様、朱漆ならびに黒 漆塗り 児玉作左衛門が収集 市立函館博物館蔵 | 100 イタ ita ニマ nima 盆 木、彫刻による文様 北海道アイヌが使用 河野廣道が収集 旭川市博物館蔵 | 111 イクバスイ ikupasuy 捧酒匁 木、彫刻による文様 小樽にて河野廣道が収集 旭川市博物館蔵 | 123 ヘベレイイ heperay 儀式用矢 木、彫刻による文様、彩色 123-1 1932(昭和7)年に浜益の山下三五郎が 制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-2 1937(昭和12)年に沙流のアイヌの人が 制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-3 1937(昭和12)年に沙流のアイヌの人が 制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-4 1937(昭和12)年に沙流のアイヌの人が 制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-5 1935(昭和10)年に屈斜路の弟子小太郎 が制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-6 1934(昭和9)年に近文の空知信次郎が 制作 |
| 87 シトペラ sitopera 団子用匁 木、彫刻による文様 北海道アイヌが使用 河野廣道が収集 旭川市博物館蔵 | 101 マトゥメレ matumere 手袋 布、刺繍による文様 大正年間以前に北海道北部あるいは樺 太にて小路口家が収集 北海道開拓記念館蔵 | 112 イクニシ ikunis 捧酒匁 木、彫刻による文様 樺太のタランドマリにて馬場脩が収集 市立函館博物館蔵 重要有形民俗文化財 | 123-1 1932(昭和7)年に浜益の山下三五郎が 制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-2 1937(昭和12)年に沙流のアイヌの人が 制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-3 1937(昭和12)年に沙流のアイヌの人が 制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-4 1937(昭和12)年に沙流のアイヌの人が 制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-5 1935(昭和10)年に屈斜路の弟子小太郎 が制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-6 1934(昭和9)年に近文の空知信次郎が 制作 |
| 88 タンパコオフ tanpakoop 煙草入れ 木(イチイ)、彫刻による文様 北海道アイヌが使用 河野廣道が収集 旭川市博物館蔵 | 102 イクバスイ ikupasuy 捧酒匁 木、彫刻による文様 八雲にて河野廣道が収集 旭川市博物館蔵 | 113 イクバスイ ikupasuy 捧酒匁 木、彫刻による文様、黒漆塗り、朱漆 塗り 苫小牧市博物館蔵 | 123-1 1932(昭和7)年に浜益の山下三五郎が 制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-2 1937(昭和12)年に沙流のアイヌの人が 制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-3 1937(昭和12)年に沙流のアイヌの人が 制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-4 1937(昭和12)年に沙流のアイヌの人が 制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-5 1935(昭和10)年に屈斜路の弟子小太郎 が制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-6 1934(昭和9)年に近文の空知信次郎が 制作 |
| 89 アットウシ attus アハルシ ahrus 樹皮衣 置布と刺繍による文様 土佐林義雄が収集 早稲田大学會津八一記念博物館蔵 | 103 イクバスイ ikupasuy イクニシ ikunis イクニツ ikunit 捧酒匁 木、彫刻による文様 北海道大学植物園・博物館蔵 | 114 イクニシ ikunis 捧酒匁 木、彫刻による文様、彩色 樺太のタランドマリにて馬場脩が収集 市立函館博物館蔵 重要有形民俗文化財 | 123-1 1932(昭和7)年に浜益の山下三五郎が 制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-2 1937(昭和12)年に沙流のアイヌの人が 制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-3 1937(昭和12)年に沙流のアイヌの人が 制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-4 1937(昭和12)年に沙流のアイヌの人が 制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-5 1935(昭和10)年に屈斜路の弟子小太郎 が制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-6 1934(昭和9)年に近文の空知信次郎が 制作 |
| 90 エムサハ emusah エムシアッ emusat | 104 イクバスイ ikupasuy イクニシ ikunis イクニツ ikunit 捧酒匁 木、彫刻による文様 1919(大正8)年開館の北海道物産陳列 | 115 イクバスイ ikupasuy イクニシ ikunis イクニツ ikunit 捧酒匁 木、彫刻による文様、黒漆地に朱彩 北海道大学植物園・博物館蔵 | 123-1 1932(昭和7)年に浜益の山下三五郎が 制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-2 1937(昭和12)年に沙流のアイヌの人が 制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-3 1937(昭和12)年に沙流のアイヌの人が 制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-4 1937(昭和12)年に沙流のアイヌの人が 制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-5 1935(昭和10)年に屈斜路の弟子小太郎 が制作 北海道大学植物園・博物館蔵 123-6 1934(昭和9)年に近文の空知信次郎が 制作 |

北海道大学植物園・博物館蔵
123-7
1936(昭和11)年に白老の森竹エカシが制作
北海道大学植物園・博物館蔵
123-8
1936(昭和11)年に泥川(樺戸)の樺勘太郎が制作
北海道大学植物園・博物館蔵
123-9
1936(昭和11)年に泥川(樺戸)の樺勘太郎が制作
北海道大学植物園・博物館蔵
123-10
1935(昭和10)年にケネ(十勝)の中山浅吉が制作
北海道大学植物園・博物館蔵
123-11
1936(昭和11)年に余市の遠星エカシが制作
北海道大学植物園・博物館蔵

第Ⅱ章 くりかえす 一いのちの鼓動のように

124
アットゥシ attus
樹皮衣
置布と刺繍による文様
1875(明治8)年7月博覧会事務局引継ぎ
東京国立博物館蔵

125
イクバスイ ikupasuy
捧酒篋
木、彫刻による文様
1890(明治23)年、上川にて収集
北海道大学植物園・博物館蔵

126
エムサハ emusah
エムシアッ emusat
刀掛け帯
編みによる文様(帯部)
置布による文様(房部)
児玉作左衛門が収集
財団法人アイヌ民族博物館蔵

127
エムサハ emusah
エムシアッ emusat
刀掛け帯
編みによる文様(帯部)
アブリケによる文様(房部)
稽古館旧蔵
青森市教育委員会蔵

128
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニツ ikunit
捧酒篋
木、彫刻による文様
1919(大正8)年開館の北海道物産陳列場附属拓殖館(のちの北海道拓殖館)旧蔵
北海道開拓記念館蔵

129
イクバスイ ikupasuy
捧酒篋
木(カバ)、彫刻による文様
西帯広(伏古)にて河野廣道が収集
旭川市博物館蔵

130
アットゥシ attus
樹皮衣
置布と刺繍による文様
旭川市博物館蔵

131
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニツ ikunit
捧酒篋

木、彫刻による文様
北海道大学植物園・博物館蔵

132
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニツ ikunit
捧酒篋
木、彫刻による文様
北海道大学植物園・博物館蔵

133
カバラミッ kaparamip
チカッカラベ cikarkarpe
木綿衣
置布、アブリケ、刺繍による文様
北海道アイヌが使用
旭川市博物館蔵

134
エムサハ emusah
エムシアッ emusat
刀掛け帯
アブリケと刺繍による文様
児玉作左衛門が収集
財団法人アイヌ民族博物館蔵

135
カバラミッ kaparamip
チカッカラベ cikarkarpe
木綿衣
置布、アブリケ、刺繍による文様
財団法人日本民藝館蔵

136
テタラベ tetarape
カーアハルシ kaaahrus
草皮衣
アブリケと刺繍による文様
1934(昭和9)年以前
北海道大学植物園・博物館蔵

137
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニツ ikunit
捧酒篋
木、彫刻による文様
北海道大学植物園・博物館蔵

138
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニツ ikunit
捧酒篋
木、彫刻による文様、彩色
北海道大学植物園・博物館蔵

139
チタラベ citarpe
キナ kina
ニカプンベ nikapunpe
文様入りゴザ
編みによる文様
旭川市博物館蔵

140
エムサハ emusah
エムシアッ emusat
刀掛け帯
編みによる文様(帯部)
アブリケによる文様(房部)
児玉作左衛門が収集
財団法人アイヌ民族博物館蔵

141
エムシアッ emusat
刀掛け帯
編みによる文様(帯部)
置布による文様(房部)
北海道アイヌが使用
旭川市博物館蔵

142
クツ kut
帯

布、刺繍による文様
千島アイヌが使用
1899(明治32)年に色丹島にて鳥居龍蔵が収集
国立民族学博物館蔵

143
クツ kut
帯
布、刺繍による文様
千島アイヌが使用
1899(明治32)年に色丹島にて鳥居龍蔵が収集
国立民族学博物館蔵

144
クツ kut
帯
布、刺繍による文様
児玉マリ氏蔵

145
イクバスイ ikupasuy
捧酒篋
木(カバ)、彫刻による文様
室蘭にて河野廣道が収集
旭川市博物館蔵

146
イクバスイ ikupasuy
捧酒篋
木(エリマキ)、彫刻による文様
十勝地方にて河野廣道が収集
旭川市博物館蔵

147
イクバスイ ikupasuy
捧酒篋
木、彫刻による文様
亮昌寺コレクション
財団法人アイヌ民族博物館蔵

148
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニツ ikunit
捧酒篋
木、彫刻による文様
北海道大学植物園・博物館蔵

149
エムサハ emusah
エムシアッ emusat
刀掛け帯
編みによる文様(帯部)
置布による文様(房部)
児玉作左衛門が収集
財団法人アイヌ民族博物館蔵

150
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニツ ikunit
捧酒篋
木、彫刻による文様
北海道大学植物園・博物館蔵

第Ⅲ章 からみあう 一おいしげる夢のように

151
エビリケへ epirikeh
マキリ makiri
小刀
木、彫刻による文様
沙流にて収集
北海道大学植物園・博物館蔵

152
エビリケへ epirikeh
マキリ makiri
小刀
木、彫刻による文様
沙流にて収集
北海道大学植物園・博物館蔵

153
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニツ ikunit
捧酒篋
木、彫刻による文様
天理大学附属天理参考館蔵

154
イクニシ ikunis
捧酒篋
木、彫刻による文様
樺太のタランドマリにて馬場脩が収集
市立函館博物館蔵
重要有形民俗文化財

155
イクバスイ ikupasuy
捧酒篋
木、彫刻による文様
1900年代前半に噴火湾(長万部)地域にて小倉範三郎が収集
北海道開拓記念館蔵

156
イクニシ ikunis
捧酒篋
木、彫刻による文様
樺太のタランドマリにて馬場脩が収集
市立函館博物館蔵
重要有形民俗文化財

157
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニツ ikunit
捧酒篋
木(サクラ)、彫刻による文様
河野廣道が収集
旭川市博物館蔵

158
イクバスイ ikupasuy
捧酒篋
木(イタヤカエデ)、彫刻による文様
屈斜路にて更科源蔵が収集
旭川市博物館蔵

159
チカッカラベ cikarkarpe
木綿衣
置布と刺繍による文様
1900年代前半に噴火湾(長万部)地域にて小倉範三郎が収集
北海道開拓記念館蔵

160
アットゥシ attus
樹皮衣
置布と刺繍による文様
日高にて収集
北海道大学植物園・博物館蔵

161
ルウンベ ruunpe
木綿衣
置布、アブリケ、刺繍による文様
児玉作左衛門が収集
児玉マリ氏蔵 市立函館博物館寄託

162
シカリニーソシ sikariniisos
木皿
木、彫刻による文様
樺太にて児玉作左衛門が収集
児玉マリ氏蔵 市立函館博物館寄託

163
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニツ ikunit
捧酒篋
木、彫刻による文様、漆塗り
河野廣道が収集
旭川市博物館蔵

164
イカユッ ikayuh
イカヨッ ikayop
儀式用矢筒
木、彫刻による文様
児玉作左衛門が収集
財団法人アイヌ民族博物館蔵

165
シボホ sipoh
宝物箱
木、彫刻による文様
樺太にて児玉作左衛門が収集
財団法人アイヌ民族博物館蔵

166
オトコホベ otokohpe
キセリオッ kiseriop
煙草入れ
木、彫刻による文様、象嵌
平取にて収集
苫小牧市博物館蔵

167
クツクルケシ kutkurkesi
帯留
木、彫刻による文様、彩色
東京国立博物館蔵

168
シカリニーソシ sikariniisos
木皿
木、彫刻による文様、裏に刻印あり
樺太アイヌが使用
河野廣道が収集
旭川市博物館蔵

169
シカリニーソシ sikariniisos
木皿
木、彫刻による文様
樺太の知志にて収集
国立民族学博物館蔵

170
チカッカラベ cikarkarpe
木綿衣
刺繍による文様
北見にて収集
市立函館博物館蔵

171
チカッカラベ cikarkarpe
チニンニヌッ cininninup
木綿衣
置布と刺繍による文様
1919(大正8)年開館の北海道物産陳列
場附属拓殖館(後に北海道拓殖館)旧蔵
北海道開拓記念館蔵

172
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニツ ikunit
捧酒匳
木、彫刻による文様、漆塗り
天理大学附属天理参考館蔵

173
アットウシ attus
アハルシ ahrus
樹皮衣
置布と刺繍による文様
児玉作左衛門が収集
財団法人アイヌ民族博物館蔵

174
チカッカラベ cikarkarpe
チニンニヌッ cininninup
木綿衣
置布と刺繍による文様
静岡市立芹沢銈介美術館蔵

175
チンチリ cinciri
チキリイミ cikiriimi

木綿衣
刺繍による文様
青森県立郷土館蔵

176
クツ kut
帯
布、刺繍による文様
千島アイヌが使用
1899(明治32)年に色丹島にて鳥居龍蔵
が収集
国立民族学博物館蔵

177
クツ kut
帯
布、刺繍による文様
千島アイヌが使用
1899(明治32)年に色丹島にて鳥居龍蔵
が収集
国立民族学博物館蔵

178
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニツ ikunit
捧酒匳
木、彫刻による文様
天理大学附属天理参考館蔵

第IV章 ひろがる —咲きひろく花のように

179
チンチリ cinciri
チカッカラベ cikarkarpe
木綿衣
刺繍による文様
北海道大学植物園・博物館蔵

180
ルウンベ ruunpe
木綿衣
置布、アプリケ、刺繍による文様
北海道アイヌ(白老)が使用
児玉作左衛門が収集
児玉マリ氏蔵 市立函館博物館寄託

181
イヨイミ iyoiimi
木綿衣
置布と刺繍による文様
1872(明治5)年に石狩アイヌの志村弥
十郎が上京時に着用
1875(明治8)年7月に博覧会事務局引
継ぎ
東京国立博物館蔵

182
ルウンベ ruunpe
チカッカラベ cikarkarpe
木綿衣
置布と刺繍による文様
土佐林義雄が収集
早稲田大学會津八一記念博物館蔵

183
ルウンベ ruunpe
木綿衣
置布と刺繍による文様
1900年代前半に北海道噴火湾(長万部)
地域にて小倉範三郎が収集
北海道開拓記念館蔵

184
ルウンベ ruunpe
チカッカラベ cikarkarpe
木綿衣
置布、アプリケ、刺繍による文様
土佐林義雄が収集
早稲田大学會津八一記念博物館蔵

185
アットウシ attus
アハルシ ahrus
樹皮衣

置布と刺繍による文様
北海道神宮におさめられる
北海道開拓記念館蔵

186
ルウンベ ruunpe
木綿衣
置布、アプリケ、刺繍による文様
1942(昭和17)年までにニール・ゴード
ン・マンローが収集
北海道開拓記念館蔵

187
チンチリ cinciri
チカッカラベ cikarkarpe
木綿衣
置布と刺繍による文様
北海道大学植物園・博物館蔵

188
ルウンベ ruunpe
チカッカラベ cikarkarpe
木綿衣
置布と刺繍による文様
財団法人日本民藝館蔵

189
アハルシ ahrus
樹皮衣
置布、アプリケ、刺繍による文様
樺太にて河野廣道が収集
旭川市博物館蔵

190
アットウシ attus
アハルシ ahrus
樹皮衣
置布と刺繍による文様
財団法人日本民藝館蔵

191
テタラベ tetarape
カーアハルシ kaaahrus
草皮衣
置布と刺繍による文様
樺太アイヌが使用
児玉作左衛門が収集
児玉マリ氏蔵 市立函館博物館寄託

192
テタラベ tetarape
カーアハルシ kaaahrus
草皮衣
置布、アプリケ、刺繍による文様
1925(大正14)年頃に樺太にて鎌田徳太
郎が収集
稽古館旧蔵
青森市教育委員会蔵

193
アットウシ attus
アハルシ ahrus
樹皮衣
置布と刺繍による文様
静岡市立芹沢銈介美術館蔵

194
チンチリ cinciri
チカッカラベ cikarkarpe
木綿衣
アプリケと刺繍による文様
1927(昭和2)年に徳川頼貞が寄贈
東京国立博物館蔵

195
ホシ hos
脚絆
綿布、樹皮布、置布と刺繍による文様
静岡市立芹沢銈介美術館蔵

196
ホシ hos
脚絆
布、刺繍による文様
児玉作左衛門が収集
児玉マリ氏蔵 市立函館博物館寄託

197
ホシ hos
脚絆
綿布、刺繍による文様
利尻島モトドマリにて西谷キクが収集
旭川市博物館蔵

198
ホシ hos
脚絆
布、刺繍による文様
土佐林義雄が収集
早稲田大学會津八一記念博物館蔵

199
マタンプシ matanpusi
鉢巻
別珍、刺繍による文様
北海道アイヌが使用
河野廣道が収集
旭川市博物館蔵

200
マタンプシ matanpusi
鉢巻
布、刺繍による文様
1900年代前半に北海道噴火湾(長万部)
地域にて小倉範三郎が収集
北海道開拓記念館蔵

201
カハコモ kahkomo
煙草入れ
布、刺繍による文様
1907(明治40)年に樺太西海岸とぶじに
て坪井正五郎が収集
国立民族学博物館蔵

202
エムサハ emusah
エムシアッ emusat
刀掛け帯
編みによる文様(帯部)
刺繍による文様(房部)
稽古館旧蔵
青森市教育委員会蔵

203
チトラベ citarpe
キナ kina
ニカプンベ nikapunpe
文様入りゴザ
編みによる文様
北海道アイヌが使用
旭川市博物館蔵

204
チトラベ citarpe
キナ kina
ニカプンベ nikapunpe
文様入りゴザ
編みによる文様
北海道アイヌが使用
1944(昭和19)年に河野廣道が収集
旭川市博物館蔵

205
チトラベ citarpe
キナ kina
ニカプンベ nikapunpe
文様入りゴザ
1927(昭和2)年に徳川頼貞が寄贈
北海道アイヌが使用
旭川市博物館蔵

206
イタ ita
ニマ nima
盆
木、彫刻による文様
北海道アイヌが使用
河野廣道が収集
旭川市博物館蔵

207
イタ ita
ニマ nima
盆
木、彫刻による文様
北海道アイヌが使用
河野廣道が収集
旭川市博物館蔵

208
イタ ita
ニマ nima
盆
木、彫刻による文様
北海道アイヌが使用
河野廣道が収集
旭川市博物館蔵

209
イタ ita
ニマ nima
盆
木、彫刻による文様
稽古館旧蔵
青森市教育委員会蔵

210
イタ ita
ニマ nima
盆
木、彫刻による文様、表面周囲に赤漆塗り
1919(大正8)年開館の北海道物産陳列場附属拓殖館(後に北海道拓殖館)旧蔵
北海道開拓記念館蔵

211
イタ ita
ニマ nima
盆
木、彫刻による文様
1919(大正8)年開館の北海道物産陳列場附属拓殖館(後に北海道拓殖館)旧蔵
北海道開拓記念館蔵

212
イタ ita
ニマ nima
盆
木、彫刻による文様
1918(大正7)年に日高のイモンパウクが制作か
1919(大正8)年開館の北海道物産陳列場附属拓殖館(後に北海道拓殖館)旧蔵
北海道開拓記念館蔵

213
イカヨッ ikayop
儀式用矢筒
木、彫刻による文様、彩色
北海道白老にて馬場脩が収集
市立函館博物館蔵
重要有形民俗文化財

214
カマカッ kamakap
上下糸分離器
木、彫刻による文様
1919(大正8)年開館の北海道物産陳列場附属拓殖館(後に北海道拓殖館)旧蔵
北海道開拓記念館蔵

第V章 ひびきあう ―はなやぐ北の春のように

215
ルウンベ ruunpe
木綿衣

置布、アプリケ、刺繍による文様
八雲のアイヌの男性椎久年蔵が所有したもの
市立函館博物館蔵

216
ルウンベ ruunpe
木綿衣
置布、アプリケ、刺繍による文様
八雲のアイヌの男性、椎久年蔵が所有したもの
市立函館博物館蔵

217
ルウンベ ruunpe
チカッカラベ cikarkarpe
木綿衣
置布、アプリケ、刺繍による文様
天理大学附属天理参考館蔵

218
ルウンベ ruunpe
木綿衣
置布と刺繍による文様
虻田の首長明石和歌助(イカシワッカ)が所有したもの
銅駄坊旧蔵
東京国立博物館蔵

219
ルウンベ ruunpe
木綿衣
置布、アプリケ、刺繍による文様
虻田の首長明石和歌助(イカシワッカ)が所有したもの
銅駄坊旧蔵
東京国立博物館蔵

220
カバラミッ kaparamip
チカッカラベ cikarkarpe
木綿衣
置布、アプリケ、刺繍による文様
天理大学附属天理参考館蔵

221
カバラミッ kaparamip
チカッカラベ cikarkarpe
木綿衣
アプリケ、刺繍による文様
天理大学附属天理参考館蔵

222
カバラミッ kaparamip
チカッカラベ cikarkarpe
木綿衣
アプリケと刺繍による文様
静岡市立芹沢銈介美術館蔵

223
カバラミッ kaparamip
チカッカラベ cikarkarpe
木綿衣
置布、アプリケ、刺繍による文様
静岡市立芹沢銈介美術館蔵

224
カバラミッ kaparamip
チカッカラベ cikarkarpe
木綿衣
アプリケと刺繍による文様
稽古館旧蔵
青森市教育委員会蔵

225
カバラミッ kaparamip
チカッカラベ cikarkarpe
木綿衣

置布、アプリケ、刺繍による文様
財団法人日本民藝館蔵

226
テタラベ tetarape
カーアハルシ kaaahrus
草皮衣
アプリケと刺繍による文様
児玉作左衛門が収集
児玉マリ氏蔵 市立函館博物館寄託

227
チキリイミ cikiriimi
木綿衣
刺繍による文様
対雁(ついしかり)に移住した樺太アイヌが制作
1876(明治9)年に対雁にて上野源兵衛が収集
上野千春氏蔵

228
チキリイミ cikiriimi
木綿衣
刺繍による文様
児玉作左衛門が収集
児玉マリ氏蔵 市立函館博物館寄託

229
ヘトムイエヘ hetomuyeh
輪状帽
ビロード、ビーズ刺繍による文様
樺太のくめこまいにて鳥居龍蔵が収集
国立民族学博物館蔵

230
ヘトムイエヘ hetomuyeh
輪状帽
紺木綿、ビーズ刺繍による文様
樺太のタライカにて馬場脩が収集
市立函館博物館蔵
重要有形民俗文化財

231
ヘトムイエヘ hetomuyeh
輪状帽
紺木綿、コハク玉による文様
樺太のタランドマリにて馬場脩が収集
市立函館博物館蔵
重要有形民俗文化財

232
エムサハ emusah
エムシアッ emusat
刀掛け帯
編みによる文様(帯部)
刺繍による文様(房部)
児玉作左衛門が収集
財団法人アイヌ民族博物館蔵

233
エムサハ emusah
刀掛け帯
編みによる文様(帯部)
刺繍による文様(房部)
樺太アイヌが使用
樺太にて河野廣道が収集
旭川市博物館蔵

234
オトコホペ otokohpe
煙草入れ
木、彫刻と象嵌による文様
1933(昭和8)年に樺太の東タライカにて樺太アイヌの人より伊東信雄に譲渡される
静岡市立芹沢銈介美術館蔵

235
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニッ ikunit
捧酒匳
木、彫刻による文様、黒漆地に蒔絵、朱彩
天理大学附属天理参考館蔵

236
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニッ ikunit
捧酒匳
木、彫刻による文様、漆塗り
北海道大学植物園・博物館蔵

237
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニッ ikunit
捧酒匳
木、彫刻による文様、黒漆塗り、朱彩
北海道大学植物園・博物館蔵

238
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニッ ikunit
捧酒匳
木、彫刻による文様、黒漆塗り、朱漆塗り
北海道大学植物園・博物館蔵

239
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニッ ikunit
捧酒匳
木、彫刻による文様、黒と朱の彩色
北海道大学植物園・博物館蔵

240
イクバスイ ikupasuy
イクニシ ikunis
イクニッ ikunit
捧酒匳
木、彫刻による文様、漆塗り
河野廣道が収集
旭川市博物館蔵

241
イクバスイ ikupasuy
捧酒匳
木、彫刻による文様、漆塗り
静内ロコマップにて河野廣道が収集
旭川市博物館蔵

242
イクバスイ ikupasuy
捧酒匳
木、彫刻による文様、漆塗り
新冠にて河野廣道が収集
旭川市博物館蔵

243
イクバスイ ikupasuy
捧酒匳
木、彫刻による文様、漆塗り
児玉作左衛門が収集
市立函館博物館蔵

下記の作品は途中で展示替えを行います。
前期(2006年12月13日―2007年1月8日)のみ展示
No. 29、No. 47、No. 49、No. 59、No. 60、No. 71、No. 124、No. 181、No. 218
後期(2007年1月10日―28日)のみ展示
No. 28、No. 46、No. 57、No. 58、No. 61、No. 70、No. 130、No. 194、No. 219
前期と後期で画面を入れ替え No. 24、No. 30、No. 31
No. 48は都合により展示されていません。